

小委員会活動中間報告

地盤と地形に刻まれた地震・災害痕跡データの 公開促進小委員会

概要

●設立趣旨

近年発生した地震およびそれに伴う地震被害報告を概観すると、地震で液状化した地盤が他の地震で再び液状化したり、地震でわずかに動いてそのままになっている伏在地すべりが地震後の降雨などにより再滑動するなど、復旧や国土保全に大きな障害となって顕在化する事例が決して少なくない。

地盤は過去の自然災害の履歴を累積的に記録している。本小委員会では、これまでに蓄積された地震・災害痕跡データや事例について、科学的な観点から分析するとともに、その結果を一般に公開し、広域的な災害リスクの評価と対応策の構築を行う。

委員会構成

【活動期間】 2019年4月～2021年3月（平成31年4月～令和3年3月）

【委員総数】 14名

委員長 池田 隆明（長岡技術科学大学）
副委員長 三神 厚（東海大学）
幹事長 阿部 慶太（鉄道総合技術研究所）
副幹事長 福永 勇介（国土技術政策総合研究所）
委員 井上 和真（群馬工業高等専門学校）
大野 春雄（建設教育研究推進機構・攻玉社工科短期大学名誉教授）
小長井一男（国際斜面災害研究機構・東京大学名誉教授）
清田 隆（東京大学 生産技術研究所）
佐藤 京（土木研究所 寒地土木研究所）
渋谷 研一（JR東日本コンサルタンツ）
竹内 渉（東京大学 生産技術研究所）
原 昌成（八千代エンジニアリング）
吉見 雅行（産業技術総合研究所 活断層センター）
渡辺 和明（大成建設）

2

2019年度の活動概要

1)委員会・WG活動等

- ・ 第1回委員会 7月29日土木学会
キックオフミーティング
活動方針の検討
- ・ 第2回委員会 3月10日土木学会
書籍発行に関する検討（2020年度発行予定）
スラウエシ島の大規模地盤流動に関する技術報告

2)小委員会活動補助費

- ・ 支出額：18,220円（交通費）

3